

● 協働の着眼点（第1版）ができるまで

「消費者コミュニケーション」「サプライチェーンマネジメント」「衛生管理」のそれぞれの観点について、製造業、卸売業、小売業の業種ごとに9つの作業グループを設置することとし、FCPの趣旨に賛同して情報共有ネットワークに参加した企業/団体を対象にして、平成20年6月から参加メンバーを募集しました。

また、協働の着眼点について議論するにあたって、食品及び食品事業者に対する消費者の認識等について情報を収集することを目的とした、消費者動向調査を、平成20年6月から7月にかけて実施しました。

平成20年7月より11月まで、約70社の食品事業者が参加し、業種別、観点別に9つの作業グループを開催しました（開催回数はおおむね36回）。作業グループでは、観点ごとに3名のファシリテーター（中立の立場の促進・触媒者）を置き、議論を進め、食品事業者が「消費者の信頼向上に向けて重要」と考える実際の取組を「協働の着眼点」として整理する作業を行いました。

作業グループで集められた事例をもとに、3業種、3観点ごと合計9種類の樹形図から構成された「協働の着眼点たたき台1次案」を作成し、平成20年11月末にFCPホームページで公表しました。

協働の着眼点たたき台1次案作成に関する作業グループ開催状況

業種	テーマ	開催回数	参加企業数
製造業者	▶ 衛生管理作業グループ	5回	14社
	▶ サプライチェーン作業グループ	4回	9社
	▶ 消費者コミュニケーション作業グループ	5回	15社
小売業者	▶ 衛生管理作業グループ	4回	5社
	▶ サプライチェーン作業グループ	4回	7社

	▶ 消費者コミュニケーション作業グループ	5 回	5 社
	▶ 衛生管理作業グループ	3 回	4 社
卸売業者	▶ サプライチェーン作業グループ	3 回	6 社
	▶ 消費者コミュニケーション作業グループ	3 回	5 社

※ 各作業グループ議事概要及び、
平成 20 年 11 月にとりまとめた「協働の着眼点たたき台 1 次案」
は別途掲載していますのでご覧ください。

平成 21 年 1 月に、製造業、卸売業、小売業の業種別で作業グループを開催し、食品事業者がより活用しやすいよう、また食品事業者間で共有しやすいようにという観点から、「協働の着眼点たたき台 2 次案」を以下のように決めました。

- (1) 「協働の着眼点〔業種別〕」
- (2) 「協働の着眼点〔業種横断版〕」
- (3) 「協働の着眼点たたき台 2 次案の公表について」

そして、これらを平成 21 年 1 月末に FCP ホームページで公表しました。

「協働の着眼点たたき台 2 次案」の公表と同時に、たたき台に対する意見を一般から広く募集しました（募集期間：平成 21 年 1 月 30 日～2 月 20 日）。また、FCP 情報共有ネットワークの参加者が推薦した企業に対してヒアリングを実施、より実態に即した具体例を追加しました。

こうして寄せられた意見を、平成 21 年 3 月に、製造業、卸売業、小売業の業種別で開催した作業グループで議論をし、フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）として「協働の着眼点（第 1 版）」を決定しました。

なお、平成 21 年 2 月 24 日に開催された第 1 回 FCP 戦略検討委員会※において、「協働の着眼点たたき台 2 次案」の説明を、3 月 17 日に開催された第 2

回 FCP 戦略検討委員会においては、「協働の着眼点（第 1 版）」が各作業グループで了承された旨の報告を致しました。

NOTE

※ 「FCP 戦略検討委員会」

これまでの作業グループや研究会の議論を踏まえ、来年度以降 FCP の取組をどのように効果的に進めていくかについて提言としてとりまとめる民間有識者によって構成される委員会

「協働の着眼点たたき台 2 次案」及び「協働の着眼点（第 1 版）」作成に関する 作業グループ開催状況

▶ 製造業：作業グループ	2 回
▶ 小売業：作業グループ	2 回
▶ 卸売業：作業グループ	2 回

※ 各作業グループ議事概要及び、
平成 21 年 1 月にとりまとめた「協働の着眼点たたき台 2 次案」
は別途掲載していますのでご覧ください。

● 「協働の着眼点」の見直し作業の結果について

平成 21 年度「協働の着眼点」策定作業グループ

<概要>

「協働の着眼点（第 1 版）」の見直し作業を行うため、FCP 情報共有ネットワークの皆様に参加を募集し、平成 22 年 3 月 19 日（金）15:00～17:00、中央合同庁舎 4 号館 1219～21 室において、平成 21 年度「協働の着眼点」策定作業グループを開催しました。

今年度の FCP 活動（各研究会、分科会、実行可能性調査等）から得られた「協働の着眼点（第 1 版）」改善に関するご意見についてご説明させていただき、18 事業者／団体 21 名の皆様から「協働の着眼点」の見直し事項についてコメントをいただきました。

＜本作業グループと、平成 21 年度の FCP 研究会・分科会、実行可能性調査活動の中で得られた「協働の着眼点」の改善に関するご意見の総括＞

- 「協働の着眼点」は今まさに活用・普及の段階にあることから、全体構成等に関する大きな修正・変更は望ましくないのではないか、というご意見が多い状況
- 修正意見については、個別の項目・具体例に対してのご意見はあるものの、「協働の着眼点」全体構成、括り方へのご意見は無い状況

こうしたご意見に対し、事務局より以下の点についてご説明しました。

- (1) 具体例は小項目の全てを説明するものではなく、あくまでも小項目の参照情報であることから、本来の位置づけは 100%やらなければいけないというチェックリストではないこと。
- (2) 今後、具体例を増やしていく手法については、「ベーシック 16」等の活用を検討していくこと。
- (3) 「協働の着眼点」は目の着け所をポイントとして提示したものであり、80 点以上ならば良いとか、○×をつけられるようにしたものではないこと。
- (4) (1)～(3)のような昨年度来のスタンスを維持した上で、本日いただいた意見を「協働の着眼点」やその普及に反映させていくこと。

＜結果＞

以上のご意見を踏まえた結果、以下のとおり取り組んでいくこととさせて頂きました。

- (1) 「協働の着眼点(第 1 版)」は、修正を加えずに平成 22 年度も使用すること。
- (2) 今後とも「協働の着眼点(第 1 版)」を活用したモデル・事例を作ること
で FCP を普及していくこと。

※ 本策定作業グループ概要概要及び、
各資料は別途掲載していますのでご覧ください。